

初稿なので、台本と実際の場面・効果音・台詞などが異なる点があることご了承ください。

1. 出会ヒ

// 人の姿をしたクモ女（少女姿）が歩いて近寄つてくる

// ダウナーというよりは淡淡と無感情で、殺す、食うという感じで

.. 右前 15 cm

：目覚めたか…。

暴れても無駄よ。

逃げられんぞ。そなたの身体…すでに糸に巻かれておる 我が巣に囚われたのだ…。

.. 正面 10 cm

何ゆえこのような廃墟に？

まあよい半月ぶりの獲物だ…たっぷりと可愛がってやらんとな。

// 首筋を舐める

.. 首のあたりで

はむ…れろれろれろれろ…

好みの顔だ。妻は面白いでな…どうせ食らうならば良き顔、若い男のほうが良い…。
前に食ろうた 40（しじゅう）過ぎの男は今ひとつだつたからの…。

// 右耳もとへ

さあ、どうしてくれよう…。

何か望むことはあるか？命乞いでもしてみるか？

// 自分を殺してくれと男はいう

// 怪訝な顔をするクモ女さん

.. 正面 10 cm

・殺して欲しい？

なんだ…妾の噂を聞き自ら供物になりにきたと申すか？
・人とはわからぬものよ…。

..だんだん左耳元へ

しかしながら…ただ殺すには惜しい。

味を見てからでも遅くはあるまい…

// ここから色気をただよわせる。

// 胸元をはだけさせる

自ら喰われに来たというそなたの心意気に免じ死ぬ前に妾の生まれたままの姿見せてやろう
う

..正面20cm

ん…はあ//

// 着物を突き破つて、クモの足が生えてくる

// 上半身は裸の女性。

四肢から蜘蛛の足が生えておろう…これが眞の姿よ。

// 男から特に反応がない。みとれている。

ふむ…。腰を抜かしているというわけではないな…
なんだ…顔を赤くして そなた…

// 自分にみとれていることに気づいたクモさん。

予想外の反応にどうしていいかわからなくなる

つぐ//

興冷めだ。

話せ。 そなたの抱える悩み聞いてやろうぞ。

// 正面30cm

…ほう、人同士で虐げ合うとな…

それで、そなたが同胞の贅となつてているのか。

流行り病1つで容易く死に絶え、100年と経たず朽ちゆく身の癖
同胞を虐げ愉悦に浸るとはなんと愚かな…（軽蔑）

しかし解せぬな。

妾に食われるのが最善と考えここへ来たのか?
他に死にようなどいちらでもあろうものを…。

// 赤らめながら少年は答える

少年「どうせ死ぬなら前にエッチなことがしてみたかっただんです。

でも、女性にふれるなんて恐れ多くて…蜘蛛女さんだつたらいいかなつて
最悪女の子に食われて殺されるなら納得できます」

ほう、ほう…

人間のメスにまぐわりたいと頼むのは気が引けるから色事ができると踏んで…
最悪 妖者でも「女」であれば食われても本望だと…

// 正面15cm

…というと何か?

そなたは人間にははばかることを、妾にするのば厭わぬと言うのか?

// 少年「いけませんか?」

いけない?

いや…物の怪でも何でも構わぬから、メスと交わりたいというそなたの業に感心していた
とこよ。

まあ人に劣る不遜な扱いを受けている点は気に入らんが、同胞でなければ何をしても気にならんという論はわからなくもない。

// 右前10cm

この姿を見て逃げ出しどころか欲情する所は正直氣に入つておる…
そなた…少々変わり種のようだな。
その望み叶えてやらんでもないが…。さて…：

// 右耳元へ

はあ//（色っぽい吐息）

もう一度問おう。

この四肢を見てなお 妖である妾と交わりたいと申すか？

//※重要 ここからだんだん柔らかく、優しい雰囲気へと変貌していきます。

なるほど…ふ〜〜。
くすぐったいか？

わかつた。その望みかなえてやろう

// お母さんみたいに優しく 実はいい人なんじやないかと思わせるよう

// 実際は求められて蜘蛛女さんはどきどきと欲情しています。

.. 右前10cm

これ…しがみついてくるな…。
くすぐす…ういやつだ//

.. だんだん左の耳元へ

「まぐわれる」かもと思うたら目の色を変えて…。

そんなに妾としたいのか//? (めちゃくちや嬉しい)

そなたには妾がいくつに見える？

24? (にじゅうし)

..だんだん正面15cmへ

くすぐす…大外れだ…

その10倍近くは生きておる。

先に「殺してくれ」と申しておつたが…さてそなたの「死に欲」と「性欲」いつたいどちらが強いのか…

ここに聞いてみるとするかの…://

//正面 パンツを食い破る

おや… 可愛い顔の癖に随分と凶暴そなのが姿を現したものだ…くすぐす。

// 触る

さあ…触るぞ…

2.毒液耳舐メ

..だんだん左耳元へ

んつふう…// そのように体を震わせて…。

おさらには大きくなつた…ふふふ…面白いやつめ
食い殺してしまつには惜しいくらいの大物だくふふ
(手コキアドリブ吐息 10秒)

この姿を見て…をこんなに勃せた人間はおらぬ…

// (可愛い子供のように 嬉しそうに)

そんなにしたいか？ 妾と…// んん？

// 正面 10cm

面白き男よ…

その身体をたつぱりとなぶつてやろう…

// だんだん右耳元へ

まずは耳を犯してやる…

// 耳なめ

// 犊めたままろれつが回らない感じでセリフお願いします

はーむ。れろれろれろれろれろ…じゅるじゅる…あむあむあむ…んっ…//
わかるか?

今そなたの身体に毒を流しておるのよ…

じゅるじゅる…はむはむ…れろれろれろ…

安心せい…身を滅ぼすような毒ではない。

ん…れろれろれろれろ…あむあむあむ…じゅるじゅる…

行為のさなか何も考えられぬよう、頭の中を綺麗にしてやつておるのだ…

れろれろれろれろ…れろれろれろ…

悪い話ではあるまい、そなたのことを虐げた同胞たちのことなど忘れたかろう
れろれろれろれろ…れろれろれろ…

そなたにとつてもこれは初めての経験…互いに気持ちよくまぐわりたかろう…
…くすくす…ありがたく毒に犯されるがいい…

(耳なめ)

ふう…

// だんだん左へ

さあ反対の耳からも流し込んでやろう…

はーむ…じゅるじゅる…

ん…れろれろ…れろれろ…くすくす…

頭の中を蕩け（とろけ）よ…現実から開放してやる…
れろれろ…れろれろ…さあ、何もかもわすれるのだ。妾のことだけを想え…//

(みみなめ)

くすくす、そろそろ毒も回ってきたか…

ほれ、はよう上着を脱げ//…あなたの身体を抱かせてくれ…

// 脱ぐ
// だんだん正面20cmへ

ああなんと色白で か細いことよ…// (感嘆)

腕など力を加えれば簡単にへし折れてしまいそうではないか// (好き)

さあ…抱いてくれ…//

そなたから…抱いてほしいと言つておるのだ//
力加減を誤つて腕を折つてしまわぬようにな…。

// ぎゅっと抱きしめる

// だんだん右10cmへ

はあ… んつ… はあ…はあ…

どうだ…肌と触れてみた感想は…//

// 「温かいです…」

そうか…//

// 右耳元へ

妾もぬくいぞ…

半身は人の身体と大差ない…そなたと同じな…。

女は初めてなのだろ…存分に味わうがいいぞ はあ～～～。 (首筋に優しく)
…ふふ…ういやつめ…震えおつて…。

はあ…はあ…んつ…ううん…

そなたの胸と妾の胸が触れ合つておるの…
くすくす…柔(やわ)いか?

よかつた…//

はあ…はあ…んつ…ふう//

そそられよう…我が唾液を多量に流し込んでやつたのだから…。

//だんだん正面10cmへ

ほれ…何も考えず…柔らかくたわわな胸の感触を味わうがよい…

はあ…はあ…んつ…ふう//

ほれ、互いの胸をこすり合わせようぞ…そなたも動いてみろ…

//胸、乳首をこすり合わせる

はあ…はあ…はあ//乳首がこする…いやらしい//気持ちいいか？ふふ…

(胸をこすり合わせるアドリブ 妖艶な吐息&たまに嬌声 20秒)

//だんだん左耳元へ

はあ…ん…心地よいな…ふふ…子供のように身体にしがみついて…。うい…そなた//（愛
い）

妻の身体でもつとも艶と張りがあり、ぷっくりと膨らんだ胸。
どうだ触つてみたいか？

// がつついしていく、焦りが見えるぐらいがいい、
//じれったさがにじみ出てる感じ。吐息まじりで

:だんだん正面15cmへ

後からいくらでも触らせてやる…

それよりも…はよう…//（少しいじらしげに 可愛く）

そなたが妻と交わりたいなどと口にしたときから、
身体を求められたときから…うずいておる…//

3.初夜ノ性交

..右耳元へ

聞こえるか?

淫らな音…

前の足…鼠径部の穴がひくつき愛液が染み出る様に気づいておらぬわけではないであろう

//

// 吐息が溢れるように

そう…人と全く同じ場所…そこに我のもつとも敏感な部分がある…//

すでに濡れておるのだ…わかるな…。

..だんだん正面10cmへ

ここは相當に食欲でな…もう我慢できぬ…早うしてくれ//

// 握入

// 超ゅっくりで。やんわり感じる 感じすぎないよう

声は高めなものが少し混じつてると嬉しいです

そ、前から…

んつ おお…ん… はあ… はあ… んああ。よい//

// 半分ぐらい挿入された

くふふ…半分といったところか…よいよい。気にせず向かつてこい。

それとも動くと果ててしまふか? んん? (煽る)

// 腰をぶる男 ※対面座位です。蜘蛛女さんの足の上にまたがつて、抱きつき 上

から下奥の方へ腰を振つてます

// まだゅっくりと奥へ

ん… ふう…あつ そう… これで奥まで入ったな…。

ふふ…ゆつくり腰を動かしてみろ…果てぬよう、そなたの好きなようにな…はあ…はあ。

// ゆつくり腰を動かす

んん はあ はあんつ んつ んつ んつ

くふふ…そう…そうだ はあ はあ はあ

なかなか悪くないではないか。はあ…んん→

はあ はあ んつ んつ んつ はあ はあ…持つているモノが良い…
というより、メスに飢えておるのだな…

んつ んつ んつ…だがその点妾も負けておらぬよ…はあ、はあ…
性行為をするのは久しいからの…

// まだゆつくり 余裕を感じられる喘ぎ 笑顔です。
(喘ぎ)

中で糸がそなたのモノに絡みついておるのがわかるか…ねちゃねちゃと、いやらしい音を
立てておろう。

はあ、はあ…はあ…んつ…くふふ…

それはな…狙つた獲物を放さぬようにと糸を吐き出しておるのだ…

// だんだんと嬌声がうわづつて余裕が無くなつてくる

んつ あ あつ はあ んつ んつ…

本能みたいなものよ…んつ あつ 出てしまふのだ…気持ち良いと…糸でからめて…くう
…オスを放しとうないと…

んつ 出てしまふのだ…糸が…あつ んつ それも…このような太くて硬いものを奥に
入れられると…あつ んつ んつ 食らいたい、食らいたいと!

// だんだん喘ぎ声が早く

(喘ぎ)

ああ…身体が震える…はあ、はあ 抱きしめて締め殺してしまわぬようにせんと…あつ

んつ

わらわが加減を誤ればそなたの身などごとく引き裂かれてしまおう…ん　んつ　あ
あつ　んつ　んつ
しかしこれはつ　んつ　あ　あ　あつ　あつ　んん　そなたつ　そなたあ//
死を恐れず、殺してくれと言わんばかり妾の身体を貪つてくるの…やめ//　やめてくれい//
ん　あつ　あつ
こら　やめ　やめんか！　あん//

(喘ぎ)

待て／待て　というに！！

ああ…ん…ん…ああ…あ…あ…いい…んつ…

・殺しとうない…まだそなたのことつ…んつ　んつ　ん…

もつとしたいのだ//　もつと、まぐわつていてたい。殺しとうない！殺しとうないつ//

// 声がだんだん高く　可愛くなる

あつ　いやつ//　やつ//　いや//

これ！　そなたつ　死ににきたのではなかつたのか！　んつんつ　嘘つきめ！
常人よりよほど　精力的ではないかつ！

あつ　あん　んつ　んつ　糸が…んあ…出るつ…はあ//

体液…どろどろ…流れ…んつ　はあ…んつ　んつ…出る…糸…白いの…出るつ…出
るう…！.

いや//　いく！　いくつ！

いく！　くる！　ああ！　くるつ！

あつ　んつ　んつ…んつ！　んつ！　んん！！　あああああああ//

//　いつたん休憩

//　男はまだ射精してません

//右耳元へ

はあ、はあ…妾としたことが初めて色事を経験する男に気をやつてしまふとは　ふふふ…。

そなたが激しく暴れるからだ…。まこと凶暴よな…（うれしそうに）

死を覚悟してここを貫いてくるそなた…なかなか勇ましかったぞ//

だが…妾の中から出た糸が絡みついて離れなくなってしまった。ふふ
これでもう絶対に逃げられんの…くすくす…（可愛らしく笑顔で）

4. 糸巻キ中出シ性交

// 右耳元

ほれ、妾を満足させてくれた礼だ
もつと唾液を耳に流し込んでやろう…
もつと狂え…憂き世を忘れ 我を求めよ…//

ん// ちゅ…れろれろれろれろ…
頭…とろけろ…きもちよくなれ…はむはむはむ…

れろれろれろ…れろれろれろ…
ほら、そなたも腰を動かさんか…

// 再び腰を動かし始める

// 右耳元へ ささやき氣味で

ん…あ…ん…ん…ん…ふふ…待ちわびておったようだな…ううん…

// 噛ぎながら耳をなめ続ける

じゅるじゅる…ん…あ れろれろれろ…さあ狂え…狂え！
…はあ…ん…//

(耳なめしながら噛ぎ 20秒)

きもちい…はあはあ…

そなたも快樂に溺れるがいい//

んつ　んつ　じゅるじゅる…

れおれおれお…んん…あ　ああ　よいぞお…ん、ん　んつ　んん//

…そうだ…妾にぶつけてみよ…受け止めてやろうぞ…
ん…あ　あつ　じゅるじゅる…れおれおれおれお…
くる…くる…んつ　んつ　んつ　んつ　あ　あつ　あつ　あつ

妾の身体が恋しいか?

んつ　んつ　あ　んつ　んつ　あ　んつ　はあ…はあ…じゅるじゅる…じゅるじゅる…

はあはあはあ…

妾はな…経験のない男とするのが好きだ…

男に初めての快感をくれてやるのがたまらなく好きである…はあ…はあ//

ん…んつ　くつ　あつ　あつ　あつ　んつ

同族メスの身体を知らんで…この身体を味わつておるのだろ?ふふ…

もう戻れんぞ…この身体を知れば、他のメスなど…

うつ　ぐつ　あつ　あつ　あつ…

何も知らんオスに手ほどきをしてやると、妾のもとへ還つてくる…はあ、はあ…
蜘蛛の巣に囚われた羽虫のように…な…

んつ　んつ　あ　んつ　逃がさん…もう逃がさんぞ…　んつ　そう…　奥まで深く貫いて
…ああ…あ　んつ　んつ　くう　あつ　あつ
ういやつだの…んつ　んつ　んつ　あ　ああ//はあ…はあ…じゅるじゅる…れおれおれお
れおれお

女の姿をしておればなんでも構わん…か…

我の身体を一途に欲して…死も顧みず…。

れろれろれろれろ…「ゅゅゅゅゅ…」

めい…はあ//

んつ あ あつ あつ はあ はあ んつ んつ あん…
求められると、体が疼くと…
かなわんの…う あつ あつ…

(喘ぎ声20秒)

んつ ううん// あつ あつ んつ うん//
はあ、はあ…はあ…

// 一旦腰をふるのをやめる

蜘蛛の姿…全く不気味ではないのか…//

人は妾を怯え、異形の姿を嫌ってきました…

200年時の長き時を生き永らえてきたが…

妾のことを恐怖するにいか、自ら求めてきたのはそなたが初めてよ…

この身体を見て頬を赤くそめたそなたの顔が忘れられん//
美しいものを見て、みとれているようにしか見えなんだ//

// 正面 やらに激しく

：正面から左右+/-45度の範囲で自由に動いてください

うつ んつ んつ あつ// あつ んつ んつ あん んんつ
(喘ぎ声)

奥に来ておる、ああ→// いいつ いい!そいいいのだ!
んつ あつ あつ あつ 糸、糸が、んつ んつ 出る、んんんあああ…!

// 男と蜘蛛女さんに糸が巻き付いていく。糸は蜘蛛女さんの愛液でドロドロ
// だんだん女になつて いる蜘蛛女さん デレていきます

..左耳元へ ささやき気味で

はあ、はあ、すまぬ…繭のように糸で絡まつてしまつた…
ふふふ…お互い真っ白だの…。

さきほども説明したが、この糸は妾の意志とは関係なく、獲物に絡みつくのだ…
苦痛はないであろうが体液が混じりべとべだな…//
妾の愛液はオスの思考を狂わす… はあ…はあ…くくく…
さあ、妾をもっと楽しめよ。

// 一旦ゆつくりと

んつ ん…うう あつ はあ// はあ…

(喘ぎ声)

種を越えた交わりは滑稽で面白い…つぐ はあ、はあ…
子を成す為ではなく、快樂を求め興じるだけ…んつ んう あつ あつ
(喘ぎ)

しかしな、求められると妾の中の女が悦んでしまう…。

ああ…糸がまたでてくる// んん…はあ…いい//

(喘ぎ声)

かように弱き人の子に 身体を欲せられ嬉しくなるとは…

..正面から左右+/-45度の範囲で自由に動いてください

(喘ぎ声)

んつ あ ああ 糸… 出る…であるつ…//

(喘ぎ声)

はあ…はあ…妾も、そろそろ限界だつ。

なあ、そなたの熱いものをくれぬか？はあはあ…ほしい

妾の奥に子種を注げ…許す…女の中で出したくはないか？

良いだろ？

ん、ああ！（高い） んつ んつ んつ あつ くる！くるう！

はあ、はあ…危うく先にいくところだ。んんつ ん んあ あつ

そなたの堪らえようよ、妾との交わりを終わらせたら食われると思うておるな？

ならば食うてやろうか…期待には応えてやらんとな…。

// キス…

んちゅ…ちゅ…れろれろれろれろ…ほれ、出せ…はう！あつ んつ んつ ん
出して妾に食われてしまえ！ んんつ あ あつ あつ じゅるじゅるじゅるじゅるじゅる…
無駄だ、抜けぬよ…そなたのアレは糸で巻かれ、妾と一体化しておる…
ほら、妾から動いてやろう…

あつ あつ あんつ んつ んつ んつ ほれ、我慢などするな。早く出して楽になれ！

妾の中につ はよう んつ あん！ あん！あん！あん！あん！

ああ、いくう// 食われてしまえ！ 妾に食われたいと言え//

そなた、死に来たのであろうがつ！ 何を意固地になつておるつ！

ほら、いくぞ！ いけ！ いけ！ いけ！ そなたのここはもう限界だろう！
出せ！ 出せっ！ んぐつ はあ はあ んつ んつ んあ！ いくつ！

（絶頂に向かって喘ぎ）

あつ あつ！ いくつ！ いくつ！あつ あつ ああああああ//

はあ、はあ…はあ…はあ…

.. 左耳元へ

出した…出しあつたな…くくく…

さあ…どうしてぐれようか…。

5. 安息添イ寝性交

.. 左耳元

どうだ、妾とまぐわった感想は？
何か思い残すことはあるか？

// 「おっぱい…胸を触りたい…です…」

ほう…胸に触れたいか…。

…そういうえば触らせてやるという約束であつたな。
よからう… 心ゆくまで堪能するがいい…。

その代わり…1つ条件がある。

このまま、まぐわつたまま抜くな…よいか…？

妾のこと…抱いたまま…つながつたまま…
よいな？

..正面10cmへ

くすぐす…ならよい。

どうせ糸に絡まつて抜きようがないがな…

ほれ…絡まつておるが、少しなら緩められる…
前にくるのだ。

// 抱きしめる

// だんだん好きなほうの耳元へ

我が胸に顔を埋めるがよい…。

んっ// ふう…ふう…

.. だんだん右耳元へ

.. ※ここからずつとささやきで
.. 寝かしつけるようにゆっくりお願ひします。

胸は柔らかいか？息苦しくないか？

(やんわり吐息10秒)

くすくす…何故息を止めておるのだ…気遣いはせんでいい…
はあ…はあ… ふう ふう…

恥ずかしいのか？

妾とてそなたの耳元で息をしておろう ふふふ…すう…すう…

妾の息が気持ちわるいか？

そのようなことはなかろう？

な…「許す」と言つている…

しつかりとそなたの吐息を感じさせてくれ…。

はあ…すう…すう…はあ…くすくす…こそばゆい…ふふふ。 (幸せそうに)

ああ… ぬくい…そなた…よい匂いがする…すう…すう…すう…恥ずかしがるな…。
汗を舐めていいか？

.. 首元へ

.. 首舐め あまり煽情的にならないように

れろれろ…れろれろ…れろれろ…れろれろ…はあ…はあ…しょっぱい。 ふふふ…
あむあむあむ…れろれろ…れろれろ…れろれろ…はあ…はあ…

.. 右耳元へ

(やんわり吐息)

// 膣からいやらしい音がする

…ふふ…くちゅくちゅと音がするな。

気は静まつておるが… 身体はまだそなたを欲しがつておる…//

腰は動かしておらぬが、膣の内部ではアレをねぶりまわしている…

ふふ…。最後の一滴まで絞りとろうとな…

// 色っぽい寝息 気持ちいい

んつ…ううん…はあ…はあ…ん…ううん…すう…すう…

ほら、安心して出すがいい。

んつ…ううん…はあ…はあ…ん…ううん…すう…すう…

出せ…。よしよし… いい子だ…。そのまま妾に注げ…。ふふ…。

ぴゅ… ぴゅ… ぴゅ… ぴゅ… ううん//

ああ…ぬくい…奥底がぬくい…//

全部出せ… 吐き出せ…。 そなたの欲望…妾に出してみよ…

ううん…すう…すう…。すう…すう…。

// 耳元にやんわり吐息を 耳かきをするように癒やされるような吐息がいいです
// ゆっくり、ゆっくり

はあ…はあ…はあ…すう…すう…

あれだけ唾液で頭を犯してやつたというのに、そなた…。
耳が赤いぞ…くすくす…。

妾の毒…実はあまり効いておらぬのだろ…?

// 幸せそうに、眠そうに

隠すな。よいよい。

…まれにあるのよ。そのような人間がの…。
あれだけ体液を浴びていたら普通ならとっくに廃人と化しておる。くすくす…

// 眠そうに ゆっくりと

// だんだん正面 10cmへ

ふう…ふう…ふう…そなたはまこと面白い…
妾の側にいるに値する…。

// 男の局部が立ち上がる嬉しくなつて

ううん…// はあ…はあ…また大きくなつた…ふふ…
…あれだけ激しく交わつたのに、まだ足りんのか?
うりうり…ふふ、ん… ふう…ふう…

// キス だらしなく、眠そうに

// 正面至近距離

んちゅ…ちゅるちゅるちゅる…れろれろれろれろ…。

// 左耳元へ

あいにくだが、妾の体力であればいくらでも性行為ができるてしまう…。
だがこれ以上はそなたの身体が持たぬはずだ…。初めてならなおさらな…。
よしよし…。今は体をやすめよ…

(やんわり吐息・寝息)

喰らう? くすぐす…そんな気 今更毛頭ないわ…。

// 吐息寝息です

はあ…はあ…はあ…すう…すう…

まあ大半は妾の眼鏡に適わぬから胃袋へと消えゆくが…そなたは別ぞ…。

はあ…はあ…はあ…すう…すう…

なんだ、本気で食われると思つておつたか？くすくす…

// 男 複雑そうな顔をする 結局死にたがつている。

ふーーーー。

// 舌足らずで可愛く

// 意外と幼いと思われる感じを見せてください

：喰われたかったか？

死んで楽になりたかったか？

// 耳なめ

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

そのような顔をするな…//

ほれ…胸に吸い付いみよ…少しほは気が晴れるかもしれぬぞ？

// あまり喘がない、くすぐったそうな

ん//… ふふふふ…こしょぱい…//

// 眠そうに ゆつたり、ゆつくりと

もつと吸つていい。 すえ…//

そう… あ… はあ// はあ// よしよし… よしよし…。

(気持ちよさそうな吐息寝息)

くすくす…。女の乳にふれるのも初めてか…いや、母親以来…か。

ふう…ふう…くすくす… よしよし…あれだけ激しく暴れたのだ…疲れもたまろう…
目を瞑るがいい…。 よしよし…。存分にしゃぶれ…はあ…はあ…。ういの（愛いの）…。

// 眠そうにゆつくり

そなたが癒やされているように、妾もまた不思議と癒やされておる…。
乳にうずまる安堵するそなた… 身体の奥底でも繋がりを感じられて…心安らぐ…はあ…
はあ…すう…

(気持ちよさそうな吐息・寝息)

何故かのう…

死にたがっているそなた… 働き命を見ていると…。
ついぞないような優しい気持ちになるのだ…。

(気持ちよさそうな吐息・寝息)

すう…すう…すう…くすくす。乳がこそばゆいの…
ああ… はあ…はあ…はあ…すう…はあ…

そら…。そなたの放つた精が短き命を終えようとしておる…。

くすくす、そんなこともわかるのか?などと…
逆にそんなこともわからぬのだな…。

すう…すう…すう…そなたはどうなのだ?

// 眠そうに ろれつが回らない感じで

我が胸の中で息絶えたとしても構わぬのか?

ここが終わりでも絶望はせぬか?

同胞たちとわかりあえずとも…よいのか?

// 乳首を舐め続ける男

くすくす…。問題ないと言いながら
しつかり乳房にしゃぶりつきおつて。

はあ…はあ…ううん… はあ…はあ…。

はあ…はあ…ふふ…妻はそなたの母ではあるまい?

なぜそもそも見ず知らずの妾に身を委ねられるのだ…。（不快ではなく心地よさそうに）

人間ではないから…？

…そりゃ。

（気持ちよさそうな吐息寝息）

そう…はあ…はあ…すう…んつ// ううん…

すう…すう…すう…くすくす…その乳首を転がすような舐め方、思わず顔が緩んでしまうぞふー。気持ちいい…もつとしろ…。

うーん…ふふふん～～ ああ…（だらしない声、緩んだ声）
よしよし…。 よしよし…。

（気持ちよさそうな吐息寝息）

// 正面至近距離へ

何かして欲しいことがあるのか？（優しい声で）
申してみよ…。

ふむ…もつと耳を舐めてほしいか…。

ただ…そなたの消し去りたい過去を忘れさせてやることはできぬが…
いや、それは野暮であるな…くすくす（純粋に気持ちよくしてほしいと言われたのがうれしい）

// だんだん右耳へ

さあ存分に奥まで舌を入れてやろうぞ…

// 眠くなりそうにやんわりなめる。自身も眠そうに、やんわり吐息まじりです

はあむ…れろれろれろれろ…じゅるじゅる…れろれろれろ…。

(耳なめ)

妾の長い舌…しつかりと奥まで入つてくれるであろう？

// “うう”り舐めてください

// 声高くなつたり 扇情的に吐息がきつくなりすぎないように注意。 寝かしつけトヲックです。

ん～れろれろれろれろ…れろれろれろれろれろれろ…

舐め過ぎ？ふふ…そなたも乳首を舐めてるではないか。助べえが。

しかも腰を小刻みに動かしあつて…、体力も精も底をつきでおるのに、まだしたりないとは呆れたな…全く…。

ああ…奥にむしっかり当たつてる…。 大きいままだ…。

(耳なめ やんわり吐息20秒)

くすくす…自ら好んで妾を抱きたいと申す人の子がいるとはの…面白い世になつたものよ。はあ…はあ…はあ…

もつと抱きしめてくれ…乳首…舐めて…吸つて…うん// //うん… はあ…はあ…はあ…はあ// ぬく…。

(耳なめ やんわり吐息)

蕩けさせてやろう…そなたの意識、頭の中…。

そなたの安息を願つて…。れろれろ… 忘れる…全部わすれろ…あむあむあむ…。

(耳なめ やんわり吐息20秒)

はあ…はあ…はあ…ふうん… ぬくい…ふふ…心地いい
妾の中でぶんぶん育つていくのがわかる… 満ちてく… そなたの愛でな…。
寝れるよう、微笑むような感じで

まーた、大きくしおつて…助平が。

はあ…はあ…はあ…ふうん… ぬくい…ふふ…心地いい

妾の中でぶんぶん育つていくのがわかる… 満ちてく… そなたの愛でな…。

くちゅ…くちゅ…くちゅ…くちゅ…くちゅ…くちゅ… ふふ…

さあ、どうどうの糸が…そなたのイチモツにさらに巻き付いていくぞ…。

離すまい、離すまいと、妾の愛がそなたを包んでおる…。

ねば…ねば…ねば…ねば…ねば…ねば…くすくす…。

耳元でこのようにわざやかれるのは気持ちいいみたいだな。

(ねば　ねば　というオノマトペ　30秒　エッチな感じで)

// 左耳元へ

ほれ、反対の耳も虐めてやめや…。

ねば…ねば…ねば…ねば…

ぐーる　ぐーる　ぐーる　ぐーる。

糸の音…愛液で湿った糸…膣のひだがねぶる音…やらしい…やらしいな…。

ねば…　ねば…ねば…ねば…ねば…

(ねば　ねば　ね)

ん～～れろれろれろれろ…

(耳なめ やんわり吐息)

じゅるじゅる…れろれろれろれろれろれろ…。ん…//

お互い敏感な場所のみ舐めあっておるが… 気が昂ぶるのではなく、静まるのを感じる…。

不思議だな…はあ…はあ…はあ…。こんな経験 初めてかもしけん…。

(耳なめ 20秒)

// 舌足らず　かわいい声で

ふふ…のお…乳首を噛んでも乳は出て来ぬぞ…。

それともなんだ。気が静まると言つたのが癪に障つたか?

んつ… ううん// はあ…はあ…はあ…

くすくす…しかし言葉を改めるつもりはないぞ…心地よく寝れそうだ…。

おや…さらに強く乳首を噛んで…ふふふ…

そんな態度が可愛ゆいの…//

よしよし… よしよし…。

幼子を愛でているようだ…。

(耳なめ)

よしよし…乳を舐め…忘れるのだ…人の世のこと…辛きこと…
あ～む。ふふん…。
れろれろれろれろれろれろれろれろ…忘れる… 忘れろ…。
さあ 眠るがいい…深く…深く… すう…すう…すう…

(耳なめ)

目を閉じるのだ…

よしよし… よしよし…すう…すう…すう…すう…すう…

(耳なめ)

まだ…起きておるか？

なあ…そなた…妻のものにならぬか？
ふふ…

じつくり考えるがいい…今日はもう、休もうぞ…。

(寝息)